



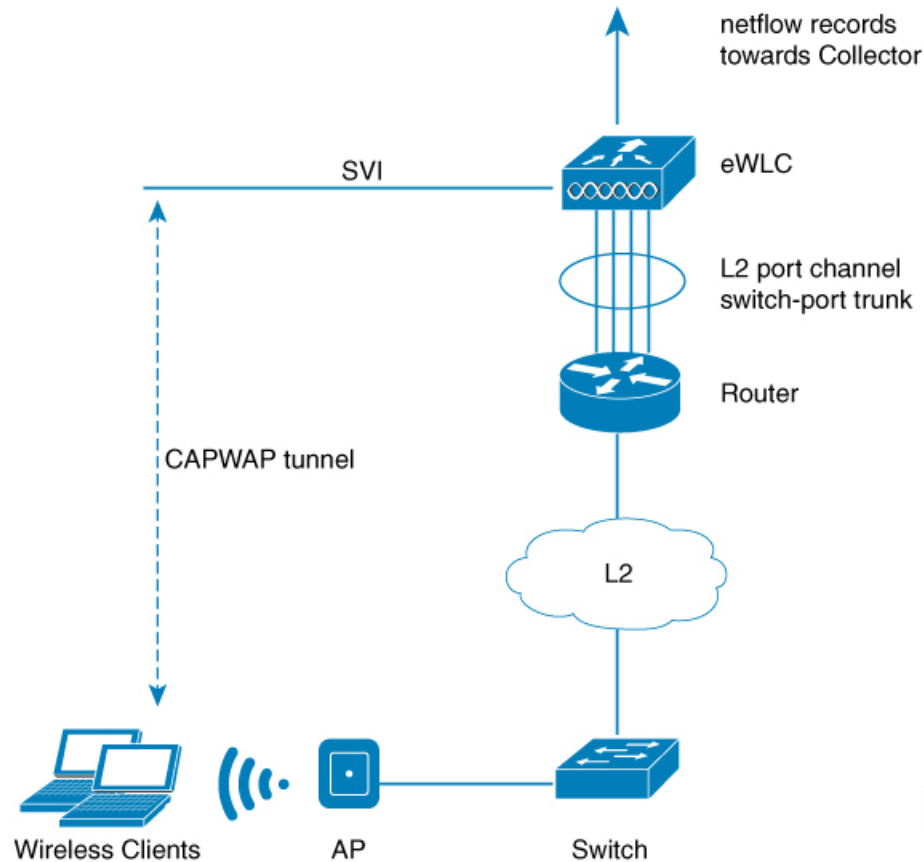
SD-Access (SDA ワイヤレス) での暗号化 トラフィック分析の設定

- [暗号化トラフィック分析について \(1 ページ\)](#)
- [ETA のグローバルな有効化 \(2 ページ\)](#)
- [WLAN ポリシー プロファイルでの ETA の有効化 \(5 ページ\)](#)
- [VLAN へのポリシー プロファイルの適用 \(GUI\) \(5 ページ\)](#)
- [VLAN へのポリシー プロファイルの適用 \(6 ページ\)](#)
- [ETA 設定の確認 \(6 ページ\)](#)

暗号化トラフィック分析について

暗号化トラフィック分析 (ETA) は、Flexible Netflow (FNF) テクノロジーを利用してフローに関する有用な情報をコレクタにエクスポートし、ネットワークの可視化を実現します。

図 1: ローカルモードの Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラに導入された暗号化トラフィック分析



ワイヤレス クライアントはデータ パケットをアクセス ポイントに送信します。次にパケットは CAPWAP によってカプセル化され、コントローラに送信されます。つまり、実際のクライアント データは CAPWAP ペイロードに含まれています。ETA をクライアント データに適用するには、パケットを ETA モジュールに渡す前に CAPWAP ヘッダーを除去する必要があります。

ETA には、次のような利点があります。

- 強化されたテレメトリ ベースの脅威分析。
- 分析によるマルウェアの特定。

ETA のグローバルな有効化

ETA の有効化

暗号化トラフィック分析を有効にするには、次の手順に従います。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	et-analytics 例： Device(config)# et-analytics	暗号化トラフィック分析を設定します。
ステップ 3	end 例： Device(config-et-analytics)# end	特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。

ETA フロー エクスポートの宛先の設定

ETA フロー エクスポートの宛先を設定するには、次の手順に従います。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	et-analytics 例： Device(config)# et-analytics	暗号化トラフィック分析を設定します。
ステップ 3	ip flow-export destination <i>ip_address</i> <i>port_number</i> 例： Device(config-et-analytics)# ip flow-export destination 120.0.0.1 2055	NetFlow レコードのエクスポートを設定します。 ここで、各変数は次のように定義されます。 <i>port_number</i> の範囲は 1 ~ 65535 です。
ステップ 4	end 例： Device(config-et-analytics)# end	特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。

ETA フロー エクスポートの宛先の設定 (GUI)

手順

-
- ステップ 1 [Configuration] > [Services] > [NetFlow] を選択します。
 - ステップ 2 [Add] ボタンをクリックします。[Create NetFlow] ダイアログ ボックスが表示されます。
 - ステップ 3 [Netflow Template] ドロップダウンリストから、使用可能なテンプレートのいずれかを選択します。
 - ステップ 4 [Collector Address] フィールドに IP アドレスを入力します。
 - ステップ 5 [Exporter Port] フィールドにポート番号を入力します。1 ~ 65535 の範囲で値を指定する必要があります。
 - ステップ 6 [Export Interface IP] ドロップダウンリストから必要なオプションを選択します。
 - ステップ 7 [Sampling Method] ドロップダウンリストから、いずれかのサンプリング方式を選択します。使用可能なオプションは、[Deterministic]、[Random]、および [Full Netflow] です。
 - ステップ 8 サンプルの範囲を入力します。32 ~ 1032 の値を指定する必要があります。
 - ステップ 9 [Available] ペインから必要なインターフェイスを選択して [Selected] ペインに移動します。
 - ステップ 10 [Save & Apply to Device] ボタンをクリックします。
-

非アクティブ タイマーの有効化

非アクティブ タイマーを有効にするには、次の手順に従います。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	et-analytics 例： Device(config)# et-analytics	暗号化トラフィック分析を設定します。
ステップ 3	inactive-timeout timeout-in-seconds 例： Device(config-et-analytics)# inactive-timeout 15	非アクティブ フローのタイムアウト値を指定します。 <i>timeout-in-seconds</i> の範囲は 1 ~ 604800 です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	end 例 : Device(config-et-analytics)# end	特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。

WLAN ポリシー プロファイルでの ETA の有効化

WLAN ポリシー プロファイルで ETA を有効にするには、次の手順に従います。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	wireless profile policy <i>profile-name</i> 例 : Device(config)# wireless profile policy default-policy-profile	WLAN のポリシー プロファイルを作成します。 <i>profile-name</i> はポリシー プロファイルのプロファイル名です。
ステップ 3	et-analytics enable 例 : Device(config-wireless-policy)# et-analytics enable	ポリシーで暗号化トラフィック分析を有効にします。
ステップ 4	end 例 : Device(config-wireless-policy)# end	特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。

VLAN へのポリシー プロファイルの適用 (GUI)

VLAN にポリシー プロファイルを適用するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [RADIUS Profiling] チェックボックスをオンにします。

ステップ 2 [Local Subscriber Policy Name] から必要なポリシー名を選択します。

- ステップ 3 [WLAN Local Profiling] セクションで [Global State of Device Classification] を有効または無効にして、[HTTP TLV Caching] と [DHCL TLV Caching] のチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4 [VLAN] セクションで、ドロップダウンリストから [VLAN/VLAN Group] を選択します。マルチキャスト VLAN を入力します。
- ステップ 5 [WLAN ACL] セクションで、ドロップダウンリストから [IPv4 ACL] と [IPv6 ACL] を選択します。
- ステップ 6 [URL Filters] セクションで、ドロップダウンリストから [Pre Auth] と [Post Auth] を選択します。
- ステップ 7 [Save & Apply to Device] をクリックします。

VLAN へのポリシー プロファイルの適用

VLAN にポリシー プロファイルを適用するには、次の手順に従います。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	wireless profile policy <i>profile-name</i> 例： Device(config)# wireless profile policy <i>profile-name</i> default-policy-profile	WLAN のポリシー プロファイルを作成します。 <i>profile-name</i> はポリシー プロファイルのプロファイル名です。
ステップ 3	vlan <i>vlan-name</i> 例： Device(config-wireless-policy)# vlan <i>vlan-name</i>	ポリシー プロファイルを VLAN に割り当てます。
ステップ 4	no shutdown 例： Device(config-wireless-policy)# no shutdown	ワイヤレス ポリシー プロファイルを有効にします。

ETA 設定の確認

ETA のグローバルな確認

ETA グローバルおよびインターフェイスの詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show platform software utd chassis active F0 et-analytics global
```

```
ET Analytics Global Configuration
ID: 1
All Interfaces: Off
IP address and port and vrf: 192.168.5.2:2055:0
```

ETA グローバル設定を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show platform software et-analytics global
```

```
ET-Analytics Global state
=====
All Interfaces      : Off
IP Flow-record Destination: 192.168.5.2 : 2055
Inactive timer: 15
```



(注) **show platform software et-analytics global** コマンドでは、ETA が有効になっているワイヤレスクライアントインターフェイスは表示されません。

データパスの ETA グローバル状態を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show platform hardware chassis active qfp feature et-analytics datapath runtime
```

```
ET-Analytics run-time information:

Feature state: initialized (0x00000004)
Inactive timeout      : 15 secs (default 15 secs)
WhiteList information :
  flag: False
  cgacl w0 : n/a
  cgacl wl : n/a
Flow CFG information :
  instance ID      : 0x0
  feature ID       : 0x1
  feature object ID : 0x1
  chunk ID        : 0xC
```

ETA メモリの詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show platform hardware chassis active qfp feature et-analytics datapath memory
```

```
ET-Analytics memory information:

Size of FO           : 3200 bytes
No. of FO allocs     : 0
No. of FO frees      : 0
```

データパスの ETA フロー エクスポートを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show platform hardware chassis active qfp feature et-analytics datapath stats
export
```

```
ET-Analytics 192.168.5.2:2055 vrf 0 Stats:
Export statistics:
Total records exported      : 5179231
Total packets exported      : 3124873
Total bytes exported        : 3783900196
Total dropped records       : 0
Total dropped packets       : 0
Total dropped bytes         : 0
```

```

Total IDP records exported :
    initiator->responder : 1285146
    responder->initiator : 979284
Total SPLT records exported:
    initiator->responder : 1285146
    responder->initiator : 979284
Total SALT records exported:
    initiator->responder : 0
    responder->initiator : 0
Total BD records exported :
    initiator->responder : 0
    responder->initiator : 0
Total TLS records exported :
    initiator->responder : 309937
    responder->initiator : 329469

```

ETA フローの統計情報を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show platform hardware chassis active qfp feature et-analytics datapath stats flow
```

```

ET-Analytics Stats:
  Flow statistics:
    feature object allocs : 0
    feature object frees  : 0
    flow create requests  : 0
    flow create matching  : 0
    flow create successful: 0
    flow create failed, CFT handle: 0
    flow create failed, getting FO: 0
    flow create failed, malloc FO : 0
    flow create failed, attach FO : 0
    flow create failed, match flow: 0
    flow create, aging already set: 0
    flow ageout requests   : 0
    flow ageout failed, freeing FO: 0
    flow ipv4 ageout requests : 0
    flow ipv6 ageout requests : 0
    flow whitelist traffic match : 0

```

ワイヤレス クライアント インターフェイス上の ETA の確認

ポリシーに ETA が設定されているかどうかを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show wireless profile policy detailed default-policy-profile
```

```

Policy Profile Name      : default-policy-profile
Description              : default policy profile
Status                   : ENABLED
VLAN                     : 160
Multicast VLAN          : 0
Passive Client           : DISABLED
ET-Analytics             : DISABLED
StaticIP Mobility       : DISABLED
WLAN Switching Policy
  Central Switching      : ENABLED
  Central Authentication : ENABLED
  Central DHCP           : ENABLED
  Flex NAT PAT           : DISABLED
  Central Assoc         : ENABLED

```

ワイヤレス クライアントの詳細で ETA ステータスを表示するには、次のコマンドを使用します。


```
Device# show platform hardware chassis active qfp feature wireless wlclient datapath
<client_mac>
```

```
Wlclient Details for Client mac: 0026.c635.ebf8
```

```
-----
Input VlanId : 160
Point of Presence : 0
Wlclient Input flags : 9
Instance ID : 3
ETA enabled : True
client_mac_addr : 0026.c635.ebf8

bssid_mac_addr: 58ac.7843.037f
Point of Attachment : 65497
Output vlanId : 160
wlan_output_uidb : -1
Wlclient Output flags : 9
Radio ID : 1
cgacl w0 : 0x0
cgacl w1 : 0x0
IPv6 addr number : 0
IPv6 addr learning : 0
```

ETA 保留ワイヤレス クライアント ツリー内のクライアントを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show platform hardware chassis active qfp feature wireless et-analytics
eta-pending-client-tree
```

CPP	IF_H	DPIDX	MAC Address	VLAN	AS	MS WLAN	POA
0X2A	0XA0000001	2c33.7a5b.827b	160	RN	LC xyz_ssid	0x90000003	
0X2B	0XA0000002	2c33.7a5b.80fb	160	RN	LC xyz_ssid	0x90000003	

QFP インターフェイス ハンドルを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device#
show platform hardware chassis active qfp interface if-handle <qfp_interface_handle>
```

```
show platform hardware chassis active qfp interface if-handle 0X29
```

```
FIA handle - CP:0x27f3ce8 DP:0xd7142000
LAYER2_IPV4_INPUT_ARL_SANITY
WLCLIENT_INGRESS_IPV4_FWD
IPV4_TVI_INPUT_FIA >>> ETA FIA Enabled
SWPORT_VLAN_BRIDGING
IPV4_INPUT_GOTO_OUTPUT_FEATURE (M)
Protocol 1 - ipv4_output
FIA handle - CP:0x27f3d30 DP:0xd7141780
IPV4_VFR_REFRAG (M)
IPV4_TVI_OUTPUT_FIA >>> ETA FIA Enabled
WLCLIENT_EGRESS_IPV4_FWD
IPV4_OUTPUT_DROP_POLICY (M)
DEF_IF_DROP_FIA (M)
```



(注) *qfp_interface_handle* の範囲は 1 ~ 4294967295 です。

ETA 保留ワイヤレス クライアント ツリーの統計情報を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show platform hardware chassis active qfp feature wireless et-analytics statistics
```

```
Wireless ETA cpp-client plumbing statistics
```

```
Number of ETA pending clients : 2
```

```
Counter Value
```

```
-----
```

Enable ETA on wireless client called	0
Delete ETA on wireless client called	0
ETA global cfg init cb TVI FIA enable error	0
ETA global cfg init cb output SB read error	0
ETA global cfg init cb output SB write error	0
ETA global cfg init cb input SB read error	0
ETA global cfg init cb input SB write error	0
ETA global cfg init cb TVI FIA enable success	0
ETA global cfg uninit cb ingress feat disable	0
ETA global cfg uninit cb ingress cfg delete e	0
ETA global cfg uninit cb egress feat disable	0
ETA global cfg uninit cb egress cfg delete er	0
ETA pending list insert entry called	4
ETA pending list insert invalid arg error	0
ETA pending list insert entry exists error	0
ETA pending list insert no memory error	0
ETA pending list insert entry failed	0
ETA pending list insert entry success	4
ETA pending list delete entry called	2
ETA pending list delete invalid arg error	0
ETA pending list delete entry missing	0
ETA pending list delete entry remove error	0
ETA pending list delete entry success	2